

# 平和憲法をつくった男：鈴木義男

## —東北とキリスト教—

◀お申込はこちらのQRコードか、下記URLから必ず事前に行ってください。

お申込みフォームURL：

<https://forms.gle/HERDN3Kq2SCXi8Ax6>



2023年9月16日 **土** 15:30  
18:30

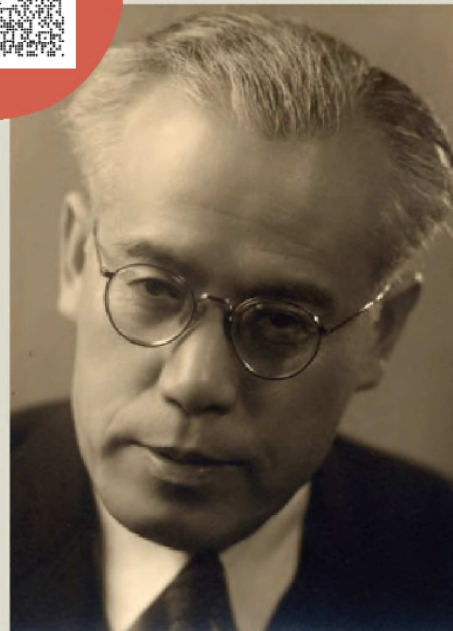
**会場** 五橋キャンパス 押川記念ホール

駐車場がないため公共交通機関をご利用ください。 地下鉄南北線五橋駅下車東北学院大学南2・常則方面口

日本国憲法に「平和」という文字を刻んだ人物が誰かは、これまで諸説紛々でした。

1995年に「芦田小委員会」の速記録が公開されてから、福島県選出の国会議員「鈴木義男」の名前が急速にクローズアップされてきました。鈴木は第9条の「平和」のみならず、第25条の生存権、それと国家賠償請求権、刑事補償請求権などを日本国憲法に盛りこみ、その骨格作りに尽力したのです。

東北学院中等部、第二高等学校、東京帝国大学法学部で学び、学者・弁護士・政治家として活躍した鈴木義男。本シンポジウムでは、鈴木の子孫を振り返り、多面的な分析により、鈴木の思想と行動を明らかにすることを目指します。



**基調講演** 鈴木義男の生涯—キリスト教との関係を中心に—

講演者 仁昌寺 正一（東北学院大学名誉教授）



**発題1** 朝鮮人留学生との関係から見えてくるもの

講演者 松谷 基和（東北学院大学国際学部教授）

**発題** 大正デモクラシーと戦後民主主義をつなぐ—吉野作造から鈴木義男へ—

講演者 雲然 祥子（岩手県立大学宮古短期大学部専任講師）



コメンテーター 油井 大三郎

（東京大学・一橋大学名誉教授、鈴木義男の孫）

司会 大西 晴樹（東北学院院長・大学長）

主催／キリスト教史学会

共催／河北新報社、東北学院史資料センター、東北学院大学キリスト教文化研究所(第62回学術講演会)

後援／銀座教文館、仙台キリスト教書店